

I 教育理念

本校は、生命に対する深い畏敬の念と豊かな人間性を基盤とし、地域の保健・医療・福祉の分野に貢献できる看護実践者を育成します。

また、学習者が看護専門職としての知識、技術及び倫理観を身につけ、個々人の持つ力を最大限に発揮できるよう支援することにより、将来にわたって看護の発展に寄与できる人材の育成をめざします。

II 教育目的

看護師として必要な知識、技術、態度を教授し、あらゆる人々をかけがえのない独自の存在として尊重し、その人らしく、よりよく生きることを支援する看護実践者を育成することを目的とします。

III 教育目標

1. すべての人に対して深い愛情と思いやりを持った調和のとれた人間性を養う。
2. 人間を身体的、精神的、社会的に統合された存在として幅広く理解する能力を養う。
3. コミュニケーション力を身につけ、自己理解、他者理解に努め、より良い対人関係能力を養う。
4. 生命の尊厳、人権の擁護を基盤として、多様な価値観を尊重し、倫理的判断のもとに看護を実践する基礎的能力を養う。
5. 人々の健康上の課題を解決するために問題解決思考を用い、その人の生活を視野に入れ、実践するための基礎的能力を養う。
6. 科学的根拠に基づき、人々にとって安全で安楽な看護技術を身につける。
7. 様々な事象に誠実に取り組み、努力を重ね、自己成長しつづける力を養う。
8. チーム医療における看護の役割を認識し、他職種と協働できるための基礎的能力を養う。

IV 卒業生の特性

1. 自己の理解に努め、他者と誠実に関わり、豊かな人間関係を築くことができる。
2. 専門職業人として責務を果たすことができる。
3. 経験したことを常に内省し、自己の課題を発見し自らを成長させる力がある。
4. 物事をクリティカルに考え、質の高い看護を主体的に実践できる。
5. 多様な生活状況に応じて、安全で安楽な看護技術を提供できる。
6. 看護に必要な倫理性を兼ね備え、多様な価値観を受け入れ、尊重することができる。
7. 保健医療福祉チームの一員として、その人が望む生活を支援できる。
8. 看護を探究する姿勢があり、看護の魅力を語るすることができる。

V. 年次目標

1年次

1. 人の意見を聴くことができ、自分の意見を言える関係性を築くことができる。
2. 看護学生として責任ある行動がとれる。
3. 自分の行動が他者へ与える影響について気づくことができる。
4. 目的意識、問題意識を持ち、「調べる力」「考えようとする態度」を身につけ、主体的に学習に取り組む。
5. 原理・原則および根拠に基づいた基本的な看護技術を身につける。
6. 社会と学校のルールを守ることができる。
7. 自己の健康に関心を持ち、健康を守るための行動がとれる。
8. 対象にとってより良い看護を考える。

2年次

1. 対人関係の中で自己を振り返り、他者への理解を深めることができる。
2. 看護学生としての責務がわかり、看護師になる自覚を高められる。
3. 自己の課題を認識し、その課題を達成するための努力ができる。
4. クリティカルシンキング（論理的、批判的思考）を身につける。
5. 看護技術の原理原則をふまえた個別性のある日常生活援助ができる。
6. 学生生活をとおして倫理的課題に気づき、表現できる。
7. 保健医療福祉チームにおける他職種の役割を理解できる。
8. 自己の健康を守るための行動を強化し、心身の健康管理ができる。
9. 自ら必要な学習課題を見出し、主体的に学習に取り組める。

3年次

1. 自己理解と他者理解に努め、誠実に人と関わることができる。
2. 専門職業人としての責務（責任と義務）がわかる。
3. 自己の課題を内省し自ら行動変容できる。
4. 論理的、批判的思考を用い科学的根拠に基づいた判断、行動ができる。
5. 臨地実をとおして、看護の「原則」から「創造」へと発展できる素地を形成する。
6. 社会人として良識ある態度で、誠実に行動できる。
7. 学生生活を通して保健医療福祉チームの一員として多職種との連携・協働を経験し、看護師の役割と責務がわかる。
8. 自己の心身の健康管理ができ看護学生として責任ある行動がとれる。
9. 臨地実習の経験をとおして自己の看護観を深めることができる。